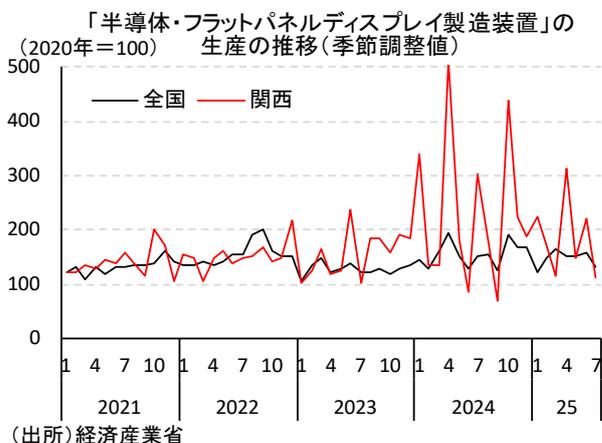
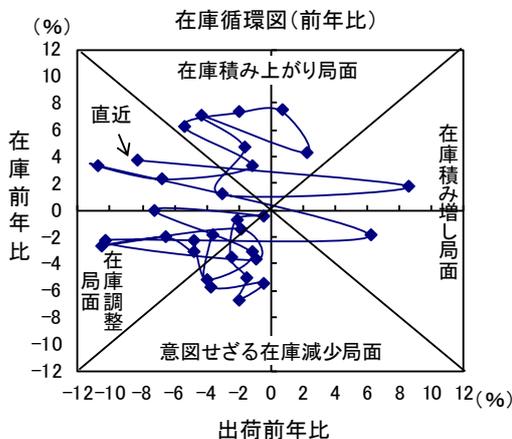
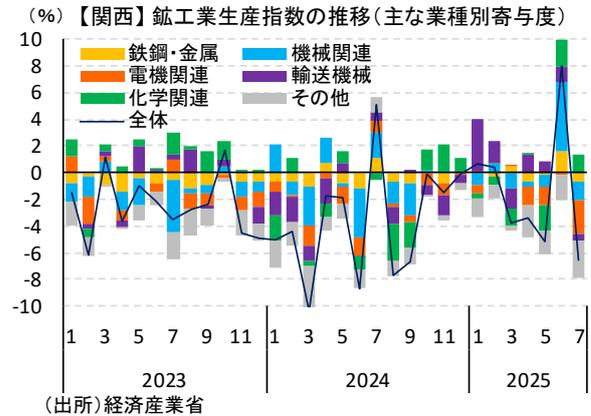
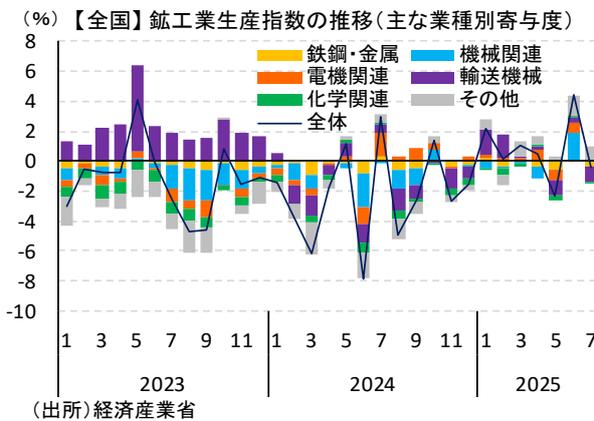


## 関西の景気トピックス【鉱工業指数（25年7月）】

- 25年7月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で6.5%減と、2か月ぶりの減少となった。業種別には半導体製造装置を中心とした機械関連が減少したほか、電子部品、電池などの電機関連も大きく減少し、全体を押し下げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月は「将来の更なる需要増に備えて増産し、在庫を積極的に積み増そうとする」在庫積み増し局面であったが、今月は景気が悪いサインとされる「積み上がった在庫を調整するため、出荷を減らす」在庫調整局面となり、今後の推移が注目される。
- 直近の関西の生産動向で注目されるのは、少し前まで好調な推移のみられた半導体製造装置の増加の動きに、一巡感が出始めている点であろう。8月からはトランプ関税の本格導入が始まる中、外需の停滞も懸念されるだけに、今後の推移が注視される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。